

2025年度第1回 沖縄大学地域研究公開講座

 **zoom**
オンライン開催

 **県民カレッジ 連携講座**

大学コンソーシアム連携 県民向け公開講座 

中国と沖縄の「発酵」と「酵素」文化に学ぶ

健康的な食の知恵

中国では古くから、発酵食品や酵素、食材の保存技術が発展してきました。沖縄でも、「長寿の島」として知られ、野菜や野草を使って、日々の暮らしに取り入れてきた風習があります。

この講座では、中国と沖縄に伝わる発酵や酵素の知恵をわかりやすくご紹介しながら、体にやさしい食品や飲み物について一緒に学びます。地域に伝わる知恵を活かし、健康的な食生活へのヒントを探してみませんか？

<プログラム>

- 14:00~14:05 開会挨拶・研究メンバー紹介（王、識名）
14:05~14:30 これまでの研究と今後の研究について（王）
①中国・沖縄の野菜と野草
②中国（西安・安康）の野菜保存法と発酵食品
14:30~15:10 今年度の研究について（識名）
①食と体内環境との関係
②発酵食品についての取り組み
15:10~15:30 質疑応答

研究名：中国と沖縄の酵素、食材の保存方法について

王 志英（おう しい） 沖縄大学人文学部教授、中国西安出身、最終学歴：京都大学人間・環境学博士。
専攻は、「中国語学」、「日中対照言語学」、「中国語教育学」。

識名 盛繁（しきな もりしげ） 有機トマト栽培を行う農家。畑を耕さない「不耕起栽培」農法を確立し、酵素作りを通して、食と体内環境との関係について研究・実践している。



7.25 **金** **14:00~15:30**

視聴無料

右のQRコードからお申込みください。



申込期限：7月23日（水）まで。

お申し込みされた方には、7/24(木)までに、申込受付メールを送信します。メールが届かない場合は、7/25(金)12時までに沖縄大学地域研究所までお問い合わせください。

地域研究公開講座について

沖縄大学地域研究所には、本学教員及び特別研究員、その他の研究協力者で構成された研究班があります。それぞれ、地域の役に立ちたいという想いで地域研究に取り組んでいます。本研究活動をより地域に開かれたものとしていくことを目的とし、すべての研究班が地域研究公開講座を実施しています。研究班活動の内容や対象とする議題等について皆様に分かりやすく紹介させていただきます。今年度は、全10班の地域研究公開講座を開催します。

問い合わせ先：沖縄大学 地域研究所
住所：沖縄県那覇市宇字場405番地
沖縄大学アネックス共創館2階
窓口：平日8:30~17:15
(12:00-13:00閉室)

TEL：098-832-5599
Email:chiken-staff@okinawa-u.ac.jp

2025年度 沖縄大学地域研究公開講座一覧（6月16日現在）

※詳細が決まり次第、本学HPよりご案内いたします。

	開催予定日	研究代表者名	研究名	研究内容要約
1	7月25日(金) 14:00～15:30	王志英 (国際コミュニケーション学科)	中国と沖縄の酵素、食材の保存方法について	中国の発酵食品や酵素、食材の保存方法などを地域の方々に紹介し、沖縄に昔からある野草の使い方を参考に、体にいい食品や飲料を考案し、多くの方々に知ってもらう。
2	9月開催予定	西章 (福祉文化学科)	次世代の平和教育プロジェクト	戦争体験のない世代がいかに沖縄戦を継承していくかを目的に、沖縄大学から「平和と反戦」の研究活動を発信する。「戦争と平和」「非暴力と自由」等について教職員と学生で講座や読書会を企画運営して、平和教育を実践していく。
3	10月開催予定	若林千代 (経法商学科)	沖縄における地域史とオーラルヒストリーの方法―戦後史研究の実践から問い直す―	沖縄戦後史研究では、オーラルヒストリーの方法と実践に対する学術的検証は未だ十分とは言い難い。本研究では、オーラルヒストリーの実践を通じて研究史を再検証しつつ、地域史の新たな方法を探究する。
4	11月開催予定	盛口満 (こども文化学科)	離島における教育連携	地理的に不利な離島地域と大学機能（大学生による出前授業と地域交流）を連携することにより、「離島における教育機会」の課題を整理し、同時に大学機関で今後どのように地域と連携できるか模索する。
5	12月開催予定	富山侑美 (経法商学科)	沖縄県の臓器移植に関する法・政策・倫理	移植でしか救命出来ない命を救うための臓器提供が十分ではない現状に鑑み、献腎移植全国1位となったことのある沖縄県での臓器提供推進の取り組みを分析し、とりわけ家族の同意の意義に着目して政策提言を行うことで、よりよい医療環境の構築を目指す。
6	12月開催予定	新島哲太郎 (管理栄養学科)	沖縄の食文化に関する文献調査・人工知能を活用した文献データベース構築	沖縄食文化に関する紙文献をデジタル化・要約・キーワード化し、検索可能なデータベースを構築する。
7	1月開催予定	眞田章午 (経法商学科)	地域社会を構成する組織体の適正・円滑な組織運営と地域資源管理の法関係の研究	本研究では、沖縄県内外の地域コミュニティを構成する組織体に焦点を当て、デジタル化と個人情報保護のあり方、組織体の意思決定・業務執行の法規整や地域資源管理の法関係を、行政法学と民法学の視点から考察する。
8	2月開催予定	若林千代 (経法商学科)	現代沖縄におけるジェンダー・女性・地域の総合研究	現代沖縄の地域社会におけるジェンダーと女性の歴史と現状に関する基礎的なデータの収集と分析による知的蓄積をおこなうと同時に、ジェンダー公正に関する新たな知見を地域社会に還元し、市民的知の構築を目指す。
9	2月開催予定	豊川明佳 (経法商学科)	コーポレート・ブランディングにおけるブランド・アイデンティティの共創プロセス：沖縄県内企業のケーススタディ	本研究は、沖縄県内の企業を対象に、ブランド・アイデンティティの「共創」を軸にしたコーポレート・ブランディングの実践と、市場志向からブランド志向への変革プロセスを考察する。
10	3月開催予定	宮城能彦 (こども文化学科)	琉球・沖縄共同体の源流と変遷の研究（2）	現在に直接つながる琉球・沖縄の「共同体」は農耕が始まった12世紀から15世紀のグスク時代に始まると言われている。その起源と変遷（特に近世と近代）を考古学と歴史研と社会学の視点から明らかにする。